

○ 本校の概要

○児童数 896名(令和2年9月2日現在) ○学級数 27学級 ○教職員数 56人(校長1 副校長1 教員36 養護教諭2 専門員1 栄養士1 講師4 事務2 主事2 副校長補佐1、学校特別支援員1、教員支援員1、読書学習司書1、学習補助員 兼 理科支援員2)

○令和2・3年度 大田区教育委員会教育研究推進校 研究主題「プログラミング的思考を活かした学び ～研究1年目 めざせプログラミングマスター 思考力・判断力・表現力等を育てるプログラミング教育～」[Viscuit・Scratchのソフト、ArtecRobo、CodeyRockyの活用]

○梅田の学び「うわあ～大発見!」「めざせ!」○○マスター”だれとも伝え合おう!”の推進 ○学年朝会の実施 ○「語先後礼」の励行 ○全校朝会での校歌斉唱 ○校長との会食 ○校内での俳句表彰 ○低学年・高学年別体育朝会 ○ロング昼休み○体育的活動「梅田ハッピータイム」

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 評価人数, 学校関係者記入欄. Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなどの豊かな心を育む', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくり出す', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指す。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作り出す。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。